

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立津島高等学校

45

評価実施日	令和2年7月13日(月)、令和3年2月19日(金)		
委員	氏名	所属等	備考
	山本 美保	英会話塾主宰(本校学校評議員)	学校評議員
	田村 裕子	宇和島市教育委員会	地域代表
	中村 公昭	宇和島警察署津島駐在所長	地域代表
	河野 理恵	宇和島市立津島中学校教頭	地域代表
	廣瀬 孝賢	本校PTA会長	保護者代表

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導 生徒による授業評価では高い評価となっているが、学校評価アンケートの自主学習の項目では、教員と生徒・保護者の評価に差が出ている。指導のおかげで学校の授業はよく分かるようであるが、自主学習の習慣化が課題である。また、読書習慣の項目が低い数値になっているため、読書についても楽しさを伝える取組をお願いしたい。</p> <p>(2) 生徒指導 津島高校の生徒は気持ちの良い挨拶ができ、身だしなみについても不快に感じたことはない。問題行動もなく、よく指導されている。部活動についても素晴らしい活躍をされているが、他校との交流や連携も効果的である。また、地域のボランティア活動については、教員・保護者の評価に比べ、生徒の評価が低くなっているが、生徒の自主的な参加につながっていないのではないかと感じる。</p> <p>(3) 進路指導 進学・就職ごとに生徒の進路に応じて、また、個に応じて適切に真剣に対応されているようである。今後も引き続き生徒の意欲を高めたり、興味を持たせたりできるような指導をお願いしたい。資格取得や検定については、積極的に取り組んでいる生徒が減少しているように思われる。今後の指導をお願いしたい。</p> <p>(4) 地域との連携 コロナ禍の中ではあったが、地域や中学校、幼稚園との交流など、50回以上の交流を実施し、地域によく貢献してもらっている。高田地区の防災退避訓練の実施なども大変ありがたい。郷土に根差した学校づくりに尽力していることに感謝したい。</p> <p>(5) その他 生徒数が少ない中、懸垂幕が数枚下げられているのを見ると、生徒や教員の努力が感じられる。体験入学でも、参加者に津島高校の良いイメージが定着していると感じられる。</p> <p>2 学校経営への提言 地域行事で意欲的に活動する高校生を見てすばらしいと感じているし、地域の方々も喜んでいて、今後も、学校の存続や地域活性化に向け、学校と地域の連携のみならず、地域とOBの連携も密にして、何ができるか考えていけるとよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き多様な進路希望や学力に対応できるよう、類型に応じた習熟度学習指導やチームティーチングによる学習指導を継続し、分かる授業及び参加型授業の実践に努めるとともに、自主学習推進期間の設定を検討したい。また、読書週間の設定や、読書の楽しさを伝える取組を工夫したい。 全教職員が共通理解を図るとともに、生徒会から呼びかけさせることで生徒の自主性を促し、挨拶や身だしなみ、正しい言葉遣い等、社会人として必要な資質、自主性を備えた人材の育成に努めたい。部活動についても可能な部については、宇和島東高校本校等との連携を図るなど効果的な活動を取り入れたい。 今後も個別指導の充実を図るとともに、関係機関と連携し進路説明会、奨学金説明会等を開催することで進学支援体制を充実させる。また、就職指導についても、事前の就職先の情報収集、企業説明会の実施、卒業後における企業との連携などを系統的に進めていく。検定取得指導については、強化を進めるとともに、生徒のやる気や主体性を育てる指導の工夫や充実を図りたい。 引き続き、地域の活性化や地域貢献に向けて、関係機関、中学校、幼稚園等と協力し地元のイベントや企画へ積極的に参加していきたい。同時に、1人でも多くの生徒への活躍の場とすることで、生徒の育成に努めたい。 小規模校の利点を生かし、教育活動のあらゆる場面で生徒の主体性を重視しながら、活動意欲に満ちた生徒を育成していきたい。また、体験入学や学校説明会ではさらなる工夫をこらし、生徒確保の取組につながるよう努めていきたい。 生徒が主体的に活躍できる場面を多く設定することで、自己肯定感を高め、積極的な学校生活を送らせたい。また、引き続き、ホームページ、広報誌、報道機関を活用した学校の諸活動紹介を積極的に行い、魅力ある開かれた学校づくりを推進する。